

2008年4月18日

東京外国為替市場委員会 第111回会合 議事録

開催日時	2008年2月21日 13:00～14:30
場 所	日本銀行本店 新館9階大会議室
議 長	井上 悟志
副 議 長	久保 浩一
副 議 長	梨本 忠彦
書 記	井上 哲也
出席委員	17名 (別紙)

I. 委員選任及び退任等の件

井上議長より、小松委員の委員としての任期（2年）が満了することが報告されました。同委員から委員に立候補する意思が示され、全会一致で承認されました。

II. 小委員会活動報告

1. 運営小委員会

松尾小委員長より、1月18日に本委員会の収支内容に関する内部監査を行った結果、適正に処理されていることが確認された旨、報告がありました。

また、松尾小委員長より、本委員会のホームページにおけるリンクポリシーについて法律的な観点から見直すべきではないか、との提案が井上議長からあったことを受けて、今後は広報小委員会において他の事例を参考にしつつ検討を行うこととなった旨、報告がありました。

2. 広報小委員会

大木小委員長より、ホームページの更新を行ったとの報告がありました。

3. 教育小委員会

永谷小委員長より、2月18日（月）にフォレックスクラブとの共同で開催されたセミナー（「世界経済の『デカップリング』と国際資本移動」、「米国経済の現状と政策」）について、参加者の好評を得たとの紹介がありました。

4. 市場調査小委員会

久保小委員長より、東京外為市場の活性化に向けた本委員会としての取り組みとして、論点ごとの討議を行った旨、報告がありました。また、今後は、論点ごとに専門家の意見を聴取し、整理した上で本委員会に報告していく方針である旨、併せて報告がありました。

5. Code of Conduct小委員会

好川小委員長より、Code of Conduct の改訂作業に関し、改訂版は本委員会ホームページ上で公開することとする旨、報告がありました。また、Prime Broker を通じた金融機関以外の新たな市場参加者に対して行動規範の周知や共有を促していくべきとの議論について、E コマース小委員会との協働の下、Code of Conduct の付記に盛り込む方向で検討を進めていく方針である旨、併せて報告がありました。

6. BCP小委員会

岡林準委員より、被災時における市場レベル BCP の運用において、バックアップ・サイトが海外に所在する場合の取扱いについて検討を行っている旨、報告がありました。また、市場レベル BCP と各メンバーの所属金融機関が内部で定めた BCP の間の整合性をどのようにして確保すべきかについて、各社において検討を行う必要がある旨、依頼がありました。

以 上

(別紙)

東京外国為替市場委員会委員名簿 (2月21日現在)

<委員>

議長	○井上 悟志	(三菱東京UFJ銀行)
副議長・市場調査小委員長	○久保 浩一	(みずほコーポレート銀行)
副議長	○梨本 忠彦	(バークレイズ銀行)
書記	○井上 哲也	(日本銀行)
運営小委員長	○松尾 勝	(三菱UFJ信託銀行)
広報小委員長	○大木 一寛	(EBS ディーリング・リソースジャパン)
教育小委員長	○永谷 昌悟	(野村証券)
法律問題小委員長	○小林 正史	(住友信託銀行)
Code of Conduct 小委員長	○好川 弘一	(BNPパリバ銀行)
決済小委員長	○小松 淳	(みずほ銀行)
Eコマース小委員長	○小池 正道	(三井住友銀行)
	○北倉 克憲	(中央三井信託銀行)
	竹川 雅祥	(メリルリンチ日本証券)
	○熱田 龍一	(バンク・オブ・アメリカ)
	○宗川 雄視	(ロイター・ジャパン)
	石川 昌信	(トクヨウフレックス上田ハーロー)
	小川 統也	(モルガン・スタンレー証券)
	鱒川 義弘	(JPモルガン・チェース銀行)

<準委員>

	野口 嘉彦	(マネー・ブローカーズ・アソシエーション)
	○内山 一慶	(みずほコーポレート銀行)
	○岡林 俊宏	(三菱東京UFJ銀行)
	○宮 将史	(日本銀行)

<オブザーバー>

	今村 英章	(財務省)
--	-------	-------

(注) 敬称略 (順不同)。○は今回出席。＊は今月退任・辞任する方。